



今年の体育大会は、10月5日(土)に開催します。9月6日(金)から、体育大会に向けての練習が始まっています。暑さ対策により、運動場での練習は極力控え、エアコンのある多目的室やスポットクーラーのある体育館での練習が中心になっています。今週からは、運動場練習が本格的に始まりますね。

体育大会に向けての練習をのぞいてみると

小学校1年生、2年生の演技。毎年かわいらしいですね。あざやかな飾りを身につけて、自分の場所でスタンバイ。音楽が流れ始めると、覚えた動きを一生懸命再現しようとします。まちがいを気にせず、心から演技を楽しむ姿は、本当にほほえましいです。

かわいらしくなるまではたくさんのがんばりがあるのですよね。学校での練習、学校での声かけとともに、家庭での練習、家庭での声かけ。学校で、家庭でもらうひと言、「がんばりや。」の聲が、子どもたちのやる気を増幅させるのですね。大きくなったやる気をもとにして、全力を出して動きに繋げるといった、君の中にあるひたむきな姿。楽しみにしています。

小学校3年生、4年生は、身体全体を使った大きな動きで自分を表現しますね。使用曲は、アップテンポなものが多いイメージがあります。素早く動くこと、次々と身体を動かすことが求められますね。手を伸ばせば伸ばすほど大きな動きになります。でも、次の動きのことを考えると…。

動きひとつひとつが小さくなってしまわないように、ボックス、サイドステップ、ビズマーキー等の基本的なステップを覚えられるように、練習しかないですね。思うようにいかない今日があっても、何回でも何回でも積み上げていくことでできるようになっていきます。そうしているうちに、自分にしかできない自分の表現を、見ている人に伝えられるようになりますよ。

小学校5年生、6年生教室前のろうかには、鳴子(なるこ)が並べられています。それらは、高学年演技で打ち鳴らす、鳴子です。自分にしか出せない色で塗った鳴子を、乾かしているのです。

小学校高学年は、体育大会で吉小ヨサコイを演じきります。6年生が5年生に踊りを教えるというやり方で、吉小ヨサコイの踊りを次の年につないでいきます。つないでいくのは、踊りだけではありません。踊るための心構えもつないでいきます。今年も、昨年と同じ光景が繰り広げられています。

踊るための心構えは、年によって異なります。みんながみんな、その心構えを大切に胸にとどめて演じきります。今年心構えは何だ。一步を大きくか、1mでも全力疾走か、はたまた声の大きさか。自分にしか出せない踊りで。これが吉小ヨサコイです。

想いは、中学校へつながれていく

中学校は、全校生徒で吉中ソーランを体育大会プログラムの最後に演じます。最後ということは、プログラム種目のなかで一番いいものであるということ。見ている人を、一番感動させるものであること。ですね。あら、あまりプレッシャーは与えない方がいいですか。

毎年、中学校3年生の実行委員のメンバーが、夏休み中に集まって、踊り方や陣形の組み方などを話し合って決めます。決めたことをもとに、上級生が下級生に教えていくことで、吉中ソーランの踊りをつないでいきます。上級生が下級生を引っ張り、下級生が上級生を、特に最上級生である中学校3年生を支えるというような、想いと想いが交差し、連動して中学生の若い情熱が閃光を放ちます。

全てをかけて踊るとは言い過ぎかも知れませんが、これに近い気合いを感じるかもしれませんね。今年は、何色の光を放ってくれるのでしょうか。大丈夫。行こう。あとは楽しむだけだ。

体育大会に向けての練習が、これから佳境を迎えます。熱中症対策を万全にしましょう。早寝早起き朝ごはん。体調を整えてみんな元気で最後までやりきって欲しいです。

2学期は大きな行事が多い学期です。体育大会を皮切りに、児童生徒が力を出す、力を出し合う場面が多くあります。児童生徒一人ひとりが存分に力を出せるように、保護者の皆さまとともに本校教職員がしっかりと児童生徒を支え、思い通りに力を伸ばしていけるような2学期にしたいと思っています。